

令和 6 年 6 月 17 日
消 防 庁**「新技術を活用した屋外貯蔵タンクの効果的な予防保全に関する調査検討会」の開催**

屋外貯蔵タンクの点検作業のスマート化に資するため、「新技術を活用した屋外貯蔵タンクの効果的な予防保全に関する調査検討会」を開催することとしましたのでお知らせします。

本検討会は、タンク底部の溶接部検査に新技術（渦電流探傷試験）を活用することについて調査検討を行います。

1 背景・目的

各保安分野では新技術の導入が進んでおり、我が国の高経年化が進んだ大規模な屋外貯蔵タンクの点検においても安全性、効率性を高める新技術の導入など、スマート保安の実現が期待されています。

特定屋外貯蔵タンクではタンクの健全性を確認するために底部の溶接部を定期的に検査することが義務づけられていますが、タンクの内面にコーティングを施工している場合には溶接部の検査毎にコーティングを剥離、再塗装する必要があり、事業者の負担となっています。

各保安分野において、渦電流探傷試験（以下「ECT」という。）によるコーティング上からの検査に関する検討が進められており、特定屋外貯蔵タンクの底部溶接部の検査においても ECT の導入が期待されているところです。

このような状況を踏まえ、特定屋外貯蔵タンクの点検作業のスマート化に向け、新技術のうち ECT を活用した効果的な予防保全に係る検討を実施するものです。

2 検討項目

ECT の導入に向けた調査検討に関する事項

3 スケジュール

令和 6 年 7 月 1 日(月)に第 1 回を開催し、以降、順次開催予定

4 委員

別紙のとおり



<問合せ先>

消防庁予防課危険物保安室 根本、伊藤、小川

TEL 03-5253-7524（直通）

「新技術を活用した屋外貯蔵タンクの効果的な予防保全に関する調査検討会」委員
(五十音順)

江藤 義晴 四日市市消防本部 予防保安課長

御調 祥弘 横浜市消防局 予防部 保安課長

熊崎 美枝子 横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授

辻 裕一 東京電機大学 工学部 機械工学科 特定教授

西 晴樹 総務省 消防庁 消防研究センター 技術研究部長 併任 消防大学校教授

三原 毅 島根大学 材料エネルギー学部 学部長

山田 實 元 横浜国立大学 安心・安全の科学研究教育センター 客員教授